

いろいろな技で、みんなのまちを守る！

## SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんは地震や台風などの災害から身を守るために、何か準備はしていますか？

私たちの社会には、もしものときのために、まちそのものを守っている「防災のプロ」たちがいます。

建設会社の「フジタ」もその中の一つです。

フジタでは、いのちとくらしを守るために災害に備え、防ぎ、復旧することのすべてを「防災」と考えています。

例えば、地震に強い建物をつくること、ドローンで危ない場所をいち早く見つけて大きな被害を防ぐこと、

そして、ドロドロの土をすぐにサラサラにする特殊な技術で復旧をスムーズにすること。

さらには、避難所での生活をサポートするために、テント付きのベッドも被災地に届けています。

フジタは「防災のプロ」として、最新の技術を使って、みなさんのいのちとくらしを守っているんです。

いつ起こるか分からない災害には備えが大切です。まずは、自分たちでできる備えは何か？みなさんと話し合ってみましょう。

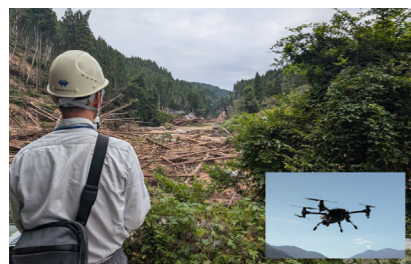
## SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



“ぼうさいのフジタ”に向かって

画像参照：ぼうさいのフジタ(ぼうさいこくたい2025HPより)

日本は地震や台風などの災害が多い国で、災害が起きると私たちの生活に大きな影響を与えます。そんな災害から人々のいのちとくらしを守るために大切なのが「防災」です。建設会社のフジタも、建物・まちづくりの知識や技術をいかながら防災に取り組んでいます。またフジタでは、災害に備えること、被害をできるだけ小さくすること、そしてすばやく復旧することまで、すべてを含めて「防災」だと考え、最新の技術を使って人々の安心・安全なくらしを支えています。



例えば、フジタは地震に強い建物をつかったり、古くなったダムを修理する工事で、災害に備えています。災害が起きたときには、ドローンで空から被害の様子をすばやく調べたり、人が入れない場所ではロボットが作業を行います。さらに、フジタが開発した、ドロドロの土をすぐにサラサラにできる技術で、道路を修復する作業や、がれきの分別が早くでき、復旧がスムーズになりました。また、テント付きの簡単な組み立てベッドを被災地に届けて、人々の避難所での生活も支えています。他にも、地震で発生したガレキを再利用して防潮堤をつくるなど、環境にやさしい取り組みもしています。このように、フジタはあらゆる技術を使いながら「備え、防ぎ、復旧する」防災で、人々のいのちとくらしを守っています。



画像参照：被災地で活躍するフジタの技術(フジタHPより)

## キーワード

### 防災

地震や台風、大雨などの自然災害から、自分のいのちとくらしを守るための準備や行動のことです。学校や地域では、みんなで災害に備える「防災訓練」があります。

### がれき

地震や火事、台風などで壊れた建物のかけらのことです。たとえば、崩れた壁、割れたガラス、壊れた木の板やコンクリートのかたまりなどです。

### 防潮堤

台風や高潮、津波など、海から水の浸入を防ぐために陸地に設置される堤防のことです。この壁のおかげで、被害を防いだり小さくすることができます。

## 対象ゴール



## みなさんにできること！

自分たちにできる災害の備えは何か、考えてみましょう。

おさらい

- 災害から人々の命とくらしを守るために大切なのが「防災」。
- フジタは建物・まちづくりの知識や技術をいかながら、防災に取り組んでいる。
- フジタは「備え、防ぎ、復旧する」防災で、人々のいのちとくらしを守っている。

## メモ



SDGs ラジオ